

2026年度 シラバス

履修規定	必修課目	授業科目	美容実習	
履修学年		1年	コース	美容科
担当教員	専任 小山民恵	経歴	実務経験 教員 美容師	
担当教員	専任 白土知津子	経歴	美容師(平成7年2月 サロンドエム入社 平成16年5月 同店退社)	
担当教員	専任 伊藤絵里	経歴	実務経験 教員 美容師	
単位数	15	授業方法 及び場所	実習 校内	
<p>1. 教科・科目の目標(到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具類の取り扱い及び管理についてを身につける。 ・美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身につけさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させること。 ・美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身につけさせること。 ・個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身につけさせること。 				
<p>2. 学習内容</p> <p>美容技術理論科目と連動して、用具類の規格及びその取扱いについて説明。 美容師国家試験第2課題を中心に第1課題、衛生までの範囲を学ぶ。 シャンプーの基礎やハンドブローまでの技術の習得を目指す。 アップスタイルに基礎を学ぶ。</p>				
<p>3. 学習方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家試験第2課題は、モデルウィッグを使用し、設定した目標時間に到達するように鍛錬する。第1学年修了時には、ワインディング20分 オールウェーブセッティングを25分での完成をめざす。第1課題は、正しいブロッキングとカット姿勢、カット技法を理解させる。 ・シャンプーは、ハンドブローまでの一連の作業がスムーズに行えるようにする。 ・アップスタイルは、結髪技術の基本を学習する。 				
<p>4. 学習評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各項目ごとに細かく到達ライン(時間・本数等)を設定し、評価する。 ・校内コンテストを実施し、作品を評価する。 ・実習道具の取り扱いや管理、実習室什器備品等の取り扱いを評価する。 				
教科書	美容実習Ⅰ 美容実習Ⅱ 改正美容師実技試験課題	副教材等	DVD プリント 実習道具	

学習計画		
月	学習項目	学習内容・方法
4月	基本的操作 用具類の取り扱い	ウィッグの取り扱い方 セッティングの仕方 コームの持ち方、扱い方 縦・横スライスの取り方
5月	ブロッキングの取り方 シャンプー ハンドブロー	ブロッキングの取り方(10分⇒5分⇒3分) シャンプーの手順・手技 ハンドブローの仕方
6月	ワインディング カッティングの基本姿勢 ローラーの巻き方	ワインディング 上巻き(1本1分⇒1本30秒) 下巻き<1本1分⇒1本30秒)
7月	校内コンテスト ワインディング	ワンレングスカット グラデーションカット ローラーの巻き方・デザインを決めてローラーを巻く 校内コンテスト(ワインディング30分)
9月	カッティングの基本姿勢 カッティングの基本動作	ワインディング 上巻き(1本30秒⇒1本20秒) 下巻き<1本30秒⇒1本20秒) シザーズの持ち方・シザーズの動かし方 作業姿勢 スライスの取り方
10月		ワンレングスカット グラデーションカット フィンガーウェーブ作成 ピンカール作成
11月	オールウェーブセッティング	スカルプチュアカール・リフトカール・メイポールカール・ クロッキノールカール
12月	校内コンテスト	校内コンテスト(ワインディング20分)
1月	カッティング	グラデーションカット 30分
2月	アップスタイル	アップスタイル 結髪技術
3月	校内コンテスト	校内コンテスト